

製品名: c-Fgr ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08702**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	FGR
別名	FGR; SRC2; Tyrosine-protein kinase Fgr; Gardner-Rasheed feline sarcoma viral; v-fgr) oncogene homolog; Proto-oncogene c-Fgr; p55-Fgr; p58-Fgr; p58c-Fgr
遺伝子 ID	2268.0
SwissProt ID	P09769
免疫原	抗血清はヒト C 末端 FGR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 381-430

背景

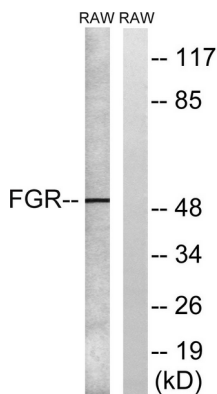
この遺伝子は、Src ファミリーに属するタンパク質チロシンキナーゼ (PTK) の一種です。コードされるタンパク質は、ミリスチル化

およびパルミチル化のための N 末端部位、PTK ドメイン、そしてそれぞれリン酸化チロシン含有モチーフおよびプロリンリッチモチーフとのタンパク質間相互作用を媒介する SH2 ドメインおよび SH3 ドメインを有しています。このタンパク質は細胞膜ラッフルに局在し、 $\beta 2$ インテグリンシグナル伝達経路によって引き起こされる細胞遊走および細胞接着の負の調節因子として機能します。エプスタイン・バーウイルス感染は、この遺伝子の過剰発現を引き起こします。同一タンパク質をコードする複数の選択的スプライシング変異体が同定されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性: $\text{ATP} + \text{a [タンパク質]}-\text{L-チロシン} = \text{ADP} + \text{a [タンパク質]}-\text{L-チロシンリン酸}$ 。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。Tyr タンパク質キナーゼファミリー。SRC サブファミリー。類似性:1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。類似性:1 つの SH2 ドメインを含む。類似性:1 つの SH3 ドメインを含む。サブユニット:PTPNS1 に結合する。

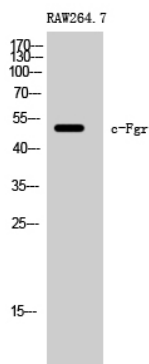
研究分野

ケモカイン;

画像データ



RAW264.7 細胞ライセートの FGR 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



c-Fgr ポリクローナル抗体を用いた RAW264.7 細胞のウェスタンブロット解析